

&lt; 認知症対応型共同生活介護用 &gt;

**評価結果報告書****地域密着型サービスの外部評価項目構成**

|                                |           |
|--------------------------------|-----------|
| 理念に基づく運営                       | 11        |
| 1. 理念の共有                       | 2         |
| 2. 地域との支えあい                    | 1         |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用          | 3         |
| 4. 理念を実践するための体制                | 3         |
| 5. 人材の育成と支援                    | 2         |
| 安心と信頼に向けた関係づくりと支援              | 2         |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応      | 1         |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援      | 1         |
| その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント       | 6         |
| 1. 一人ひとりの把握                    | 1         |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し | 2         |
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援              | 1         |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働    | 2         |
| その人らしい暮らしを続けるための日々の支援          | 11        |
| 1. その人らしい暮らしの支援                | 9         |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり        | 2         |
| <b>合計</b>                      | <b>30</b> |

|       |                 |
|-------|-----------------|
| 事業所番号 | 4670105040      |
| 法人名   | 錦江建設株式会社        |
| 事業所名  | グループホーム ぶどうの木   |
| 訪問調査日 | 平成20年12月13日     |
| 評価確定日 | 平成21年2月23日      |
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人NPOさつま |

**項目番号について**

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。  
番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載します。

**記入方法**

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入します。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に をつけます。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容について記入します。

**用語の説明**

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

[認知症対応型共同生活介護用]

# 1. 評価結果概要表

作成日 2008年12月23日

## 【評価実施概要】

|       |                                        |       |            |
|-------|----------------------------------------|-------|------------|
| 事業所番号 | 4670105040                             |       |            |
| 法人名   | 錦江建設株式会社                               |       |            |
| 事業所名  | グループホーム ぶどうの木                          |       |            |
| 所在地   | 鹿児島県鹿児島市中山町5286番地<br>(電話) 099-821-1011 |       |            |
| 評価機関名 | 特定非営利活動法人 NPOさつま                       |       |            |
| 所在地   | 鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48-13                    |       |            |
| 訪問調査日 | 平成20年12月13日                            | 評価確定日 | 平成21年2月23日 |

## 【情報提供票より】(20年10月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

|       |                  |        |                       |
|-------|------------------|--------|-----------------------|
| 開設年月日 | 平成 18 年 3 月 18 日 |        |                       |
| ユニット数 | 1 ユニット           | 利用定員数計 | 9 人                   |
| 職員数   | 11 人             | 常勤     | 3人, 非常勤 8人, 常勤換算 6.0人 |

### (2) 建物概要

|      |        |    |        |
|------|--------|----|--------|
| 建物構造 | 木造平屋建て |    |        |
|      | 1階建ての  | 1階 | ~ 1階部分 |

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

|                     |              |                |          |       |
|---------------------|--------------|----------------|----------|-------|
| 家賃(平均月額)            | 30,000 円     | その他の経費(月額)     | 16,500 円 |       |
| 敷金                  | 無            |                |          |       |
| 保証金の有無<br>(入居一時金含む) | 有( 30,000 円) | 有りの場合<br>償却の有無 | 無        |       |
| 食材料費                | 朝食           | 300 円          | 昼食       | 350 円 |
|                     | 夕食           | 450 円          | おやつ      | 50 円  |
|                     | または1日当たり     |                | 1150円    |       |

### (4) 利用者の概要(10月1日現在)

|       |        |      |     |    |     |
|-------|--------|------|-----|----|-----|
| 利用者人数 | 9名     | 男性   | 2名  | 女性 | 7名  |
| 要介護1  | 3名     | 要介護2 | 3名  |    |     |
| 要介護3  | 2名     | 要介護4 | 1名  |    |     |
| 要介護5  | 0名     | 要支援2 | 0名  |    |     |
| 年齢    | 平均 83歳 | 最低   | 66歳 | 最高 | 94歳 |

### (5) 協力医療機関

|         |          |          |         |        |
|---------|----------|----------|---------|--------|
| 協力医療機関名 | 鹿児島徳州会病院 | 西村内科消化器科 | 中山クリニック | わきもと歯科 |
|---------|----------|----------|---------|--------|

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

鹿児島市の田んぼや畑の残る郊外にあり、戸建て住宅に囲まれながらも違和感のない落ち着いたたたずまいであり、温もりの感じられるつくりのホームである。玄関先には季節の花々も植えられ、利用者は思い思いのゆったりとした日常を過ごしている。職員は介護の職歴はさまざまではあるが、経験と個性を生かしながらお互いに協力しサービスの質の向上を目指し日々取り組んでいる。また個別の病院受診や外出にも柔軟に対応し、利用者の心身状態に合わせたケアにも努めている。

## 【重点項目への取り組み状況】

|      |                                                                                                                                   |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 重点項目 | 前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)                                                                                              |
|      | 毎月の勉強会を勤務時間内にもち、研修報告並びに話し合いを持って、共有化できるよう図っている。食事も全員一緒にサポートしながら摂っている。水分摂取量のチェックも記載様式を作成し取り組んでいる。運営推進会議に行政関係者の出会を依頼しているが実現には至っていない。 |
| 重点項目 | 今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)                                                                                                       |
|      | 管理者を中心に職員の意見を参考にしながら自己評価を行っている。自己評価をすることで職員のケアサービスの振り返りとなり、サービスの質の向上につながっている。                                                     |
| 重点項目 | 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)                                                                                          |
|      | 利用者およびその家族、民生委員、町内会長、近隣の住民など多くの参加を得て定期的に開催されている。ホームの運営状況や利用者の様子を報告している。また、参加者から意見や要望を出してもらいサービスの向上に活かしている。                        |
| 重点項目 | 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)                                                                                              |
|      | 意見箱が置いてある。家族の訪問時や家族会や運営推進会議で出された要望はミーティングで話し合い、対応に努めている。                                                                          |
| 重点項目 | 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)                                                                                                          |
|      | 自治会に入会し、地域の行事に参加している。近隣の住民とは、お茶を飲みながら相談を受けたり、野菜をもらったり、しめ縄作りなどを通じ交流ができています。公共施設関係者、民生委員、ボランティアの方々との交流も密にできています。                    |

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

| 外部                    | 自己 | 項目                                                                                     | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                                | (印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------------|----|----------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|----------------------------------|
| <b>. 理念に基づく運営</b>     |    |                                                                                        |                                                                                                                |     |                                  |
| 1. 理念と共有              |    |                                                                                        |                                                                                                                |     |                                  |
|                       |    | 地域密着型サービスとしての理念                                                                        |                                                                                                                |     |                                  |
| 1                     | 1  | 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている                                     | グループホームの意義と役割を重視した理念を作成し、さらに職員の思いを集約して「ゆっくり、やさしく、おだやかに」の標語を掲げている。                                              |     |                                  |
| 2                     | 2  | 理念の共有と日々の取り組み<br>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる                                     | 業務時間内の15時以降に、毎日ミーティングを行っている。そのなかで理念の共有化を図り、実践に向けて日々取り組んでいる。                                                    |     |                                  |
| 2. 地域との支えあい           |    |                                                                                        |                                                                                                                |     |                                  |
| 3                     | 5  | 地域とのつきあい<br>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている               | 自治会に入会し、地域の行事に参加している。近隣の住民とは、お茶を飲みながら相談を受けたり、野菜をもらったり、しめ縄作りなどを通じ交流ができています。公共施設関係者、民生委員、ボランティアの方々との交流も密にできています。 |     |                                  |
| 3. 理念を実践するための制度の理解と活用 |    |                                                                                        |                                                                                                                |     |                                  |
| 4                     | 7  | 評価の意義の理解と活用<br>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる                 | 職員は評価の意義を理解している。自己評価はミーティングで話し合ったり、職員はレポートを書いたりして意見を出し、管理者がまとめている。外部評価の指摘、改善点を話し合い、より良いサービスに活かしている。            |     |                                  |
| 5                     | 8  | 運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 利用者およびその家族、民生委員、町内会長、近隣の住民など多くの参加を得て、定期的に関催されている。ホームの運営状況や利用者の日頃の様子を報告している。また、参加者から意見や要望を出してもらいサービスの向上に活かしている。 |     |                                  |

| 外部              | 自己 | 項目                                                                                                  | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                                                 | (印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------|----|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|----------------------------------|
| 6               | 9  | 市町村との連携<br>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる                               | 市町村担当者とは生活保護の利用者がいることもあり、アドバイスをもらったり、相談したりしながらサービスの質の向上に取り組んでいる。                                                                |     |                                  |
| 4. 理念を実践するための体制 |    |                                                                                                     |                                                                                                                                 |     |                                  |
| 7               | 14 | 家族等への報告<br>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている                              | 手紙やファックスで報告したり、月1回はホーム便りを配布している。金銭出納帳は月1回領収書を添えて送付し、確認をもらっている。                                                                  |     |                                  |
| 8               | 15 | 運営に関する家族等意見の反映<br>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                                | 意見箱が置いてある。家族の訪問時や家族会、運営推進会議に出された要望はミーティングで話し合い、対応に努めている。                                                                        |     |                                  |
| 9               | 18 | 職員の異動等による影響への配慮<br>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている | なじみの関係を重要視したケアを心がけている。やむを得ない異動においては残された職員が一丸となって利用者が不安に陥らないようレクリエーションや声かけで安心感をもてるよう工夫している。                                      |     |                                  |
| 5. 人材の育成と支援     |    |                                                                                                     |                                                                                                                                 |     |                                  |
| 10              | 19 | 職員を育てる取り組み<br>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている              | 月1回は外部研修に交替で参加し、復命研修報告され、全員が共有できている。ゆとりのある勤務時間内に内部研修も実施し職員の技術や知識向上に努めている。会議録、申し送りノート、伝達情報など見た、聞いたのサインを確実にしてリスク軽減につながる共有理解が望まれる。 |     |                                  |
| 11              | 20 | 同業者との交流を通じた向上<br>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている    | 地区グループホームの会に入り、研修会を通して交流ができています。近隣のグループホームとは利用者を含めた交流を図り、ホーム同士、向上に活かしている。                                                       |     |                                  |

| 外部                                | 自己 | 項目                                                                                                     | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                            | (印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------------------------|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|-----|----------------------------------|
| <b>. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>        |    |                                                                                                        |                                                                            |     |                                  |
| 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応         |    |                                                                                                        |                                                                            |     |                                  |
| 12                                | 26 | 馴染みながらのサービス利用<br>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している | 本人や家族がなじめるように見学や茶話会、宿泊してもらい信頼関係を築き不安なく入居できるように図っている。                       |     |                                  |
| 2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援         |    |                                                                                                        |                                                                            |     |                                  |
| 13                                | 27 | 本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている                       | 一方的に介護するのではなく、一人ひとりの人生経験を尊重し、人生の先輩として学ばせてもらったり、利用者の思いに共感したりして支えあう関係を築いている。 |     |                                  |
| <b>. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |    |                                                                                                        |                                                                            |     |                                  |
| 1. 一人ひとりの把握                       |    |                                                                                                        |                                                                            |     |                                  |
| 14                                | 33 | 思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している                                            | 一人ひとりの思いや意向は言葉で表現したり、行動や表情に表れるので、観察、傾聴、見守りを重視し、思いや意向の把握に努めている。             |     |                                  |
| 2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し    |    |                                                                                                        |                                                                            |     |                                  |
| 15                                | 36 | チームでつくる利用者本位の介護計画<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している         | 病歴、好きな事、生活歴、身体状況などを考慮し、利用者や家族の希望、日々接している職員の意見を反映した本人本位の介護計画を作成している。        |     |                                  |
| 16                                | 37 | 現状に即した介護計画の見直し<br>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している     | 3ヵ月ごとに見直しをしている。状態変化に応じてモニタリング、評価を行い、見直しに活かしている。                            |     |                                  |

| 外部                          | 自己 | 項目                                                                                         | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                                      | (印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|-----------------------------|----|--------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|----------------------------------|
| 3. 多機能性を活かした柔軟な支援           |    |                                                                                            |                                                                                                                      |     |                                  |
| 17                          | 39 | 事業所の多機能性を活かした支援<br>本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている                             | 本人や家族などの状況に応じて病院受診や外出、定期的な健康診断などの支援を行っている。                                                                           |     |                                  |
| 4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 |    |                                                                                            |                                                                                                                      |     |                                  |
| 18                          | 43 | かかりつけ医の受診支援<br>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している              | 内科に関しては本人や家族の希望するかかりつけ医になっている。他の受診は希望の医療機関を家族と協力しながら支援している。                                                          |     |                                  |
| 19                          | 47 | 重度化や終末期に向けた方針の共有<br>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している | 重度化した場合や終末期においても、ホームで出来るかぎりケアするための職員研修に努め、人員体制の構築にも取り組んでいる。入居の際や利用者の身体状況に応じ、家族などに本人本位のケアを基本方針とし説明し納得を得、全員で方針を共有している。 |     |                                  |
| . その人らしい暮らしを続けるための日々の支援     |    |                                                                                            |                                                                                                                      |     |                                  |
| 1. その人らしい暮らしの支援             |    |                                                                                            |                                                                                                                      |     |                                  |
| (1) 一人ひとりの尊重                |    |                                                                                            |                                                                                                                      |     |                                  |
| 20                          | 50 | プライバシーの確保の徹底<br>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない                          | ミーティングや毎日のケアの中で利用者の誇りやプライバシーを損ねないように声かけや対応に留意し、気持ちよく過ごしてもらうよう、努めている。個人情報に関しては入居の際、同意をもらっている。職員は採用時誓約書を提出している。        |     |                                  |
| 21                          | 52 | 日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している            | 大まかな一日の流れはあるが一人ひとりの希望を大切に、楽しく過ごすこと(外出、レクリエーション、おやつ作り)を考慮し、利用者のペースに合わせた支援を行っている。                                      |     |                                  |

| 外部                            | 自己 | 項目                                                                             | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                                                                    | (印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|-------------------------------|----|--------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|----------------------------------|
| (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 |    |                                                                                |                                                                                                                                                    |     |                                  |
| 22                            | 54 | 食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている    | 一人ひとりの能力や希望により食材の皮むき、配膳や片付けなど出来ることをしてもらい、職員も一緒にサポートしながら食事をしている。                                                                                    |     |                                  |
| 23                            | 57 | 入浴を楽しむことができる支援<br>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している   | 入浴日は一応決められているが、利用者の希望や身体状況に合わせて支援している。入浴を拒む方には声かけや対応に配慮しながら入浴支援に努めている。                                                                             |     |                                  |
| (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 |    |                                                                                |                                                                                                                                                    |     |                                  |
| 24                            | 59 | 役割、楽しみごと、気晴らしの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている | 利用者の趣味や特技を發揮できるようにしている。ほとんどの利用者が歌、踊りが得意で職員も一緒になって楽しんでいる。ドライブや手作りのおやつを作ったりして気晴らしの支援をしている。                                                           |     |                                  |
| 25                            | 61 | 日常的な外出支援<br>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している                   | 日常的に買い物や本屋、ふれあいスポーツランドに出かけている。季節が変わることにお弁当持参でバラ、あじさい、コスモス見学、みかん狩りに行って、閉じこもらない支援ができています。                                                            |     |                                  |
| (4) 安心と安全を支える支援               |    |                                                                                |                                                                                                                                                    |     |                                  |
| 26                            | 66 | 鍵をかけないケアの実践<br>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる          | 通常は日中、居室玄関などに鍵をかけることはしない。(入居、1週間内の利用者がいる時は帰宅願望が強いので安全防止のため鍵をかけたり、見守りを重視している。)                                                                      |     |                                  |
| 27                            | 71 | 災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている      | 災害や緊急時の対応マニュアルを作成し、職員は日々、内容を確認し、研鑽している。年2回消防分遣隊の指導の下、心肺蘇生法や地域住民、職員、利用者を含めた消防訓練(消火器の使用、避難方法)を、実施している。利用者の事故防止の為にヒヤリハット事例をたくさん列記しサービス向上につなげる努力が望まれる。 |     |                                  |

| 外部                         | 自己 | 項目                                                                                                       | 取り組みの事実<br>(実施している内容・実施していない内容)                                                                                                        | (印) | 取り組みを期待したい内容<br>(すでに取組んでいることも含む) |
|----------------------------|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|----------------------------------|
| (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 |    |                                                                                                          |                                                                                                                                        |     |                                  |
| 28                         | 77 | 栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている                                   | 食事量、水分量を記入し一人ひとりの状態に応じた摂取の確保が出来るよう支援している。身体状況に合わせてキザミ食、トロミ食、お粥など配慮されている。栄養バランスは栄養士である管理者によって把握されている。                                   |     |                                  |
| 2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり    |    |                                                                                                          |                                                                                                                                        |     |                                  |
| (1) 居心地のよい環境づくり            |    |                                                                                                          |                                                                                                                                        |     |                                  |
| 29                         | 81 | 居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 共用空間は広く、開口部を多く採光や風通しに配慮している。室内からは花のガーデンをはじめ野菜畑、住宅などが見えて生活感や季節感を味わうことができる居心地の良い造りになっている。テレビ、カセット、こたつ、ソファ、テーブルを備え、利用者同士で自由に過ごせるよう工夫している。 |     |                                  |
| 30                         | 83 | 居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている                   | 仏壇をはじめ家族写真、テーブルなど使いなれた品物が持ち込まれ、本人がより安心して居心地よく過ごせるよう配慮している。                                                                             |     |                                  |